



水野先生には、大変多くの事を学ばせて頂きました。

まず、大きな事は、家庭の中に、ストップ役が、絶対必要だといふこと。お前の一にふる事は間違っている」と言え、止めてくれる。

子どもから見ても、怖い父親の存在を作って下りました。

そして、父の役も母の役も一人ではまなまなけなような……でも、手や

口を出せば、反抗が返ってくるから言えなくて……そんな疲れ切った

私に、母は、共感役でいければいいことを、教えて下りました。

というも、子どものすることなすこと。つい不足不満を見て

しちゃうが、何ともマイナス思考で考えてしまう私に、ありのままの

子どもを受け入れる事は難しく、心から子どもを受け入れられな

てしまった。そんな時、手法的な事以外にも、私の心にある問題を

を見つけて下さり、考え方も変えて下さりました。

男と女は、生まれもそ考え方が違うことを、えまの体験もふまえて  
教えて頂きました。そして、面倒くさなりやど勤かなのも、大抵は  
なのも納得がいき、まあ、こんなもんか」といって大らかな気持ちで  
見られるようになりました。

最近、えまのお話から興味をもち、知った事ですが、脳の発達の上でも  
男と女は、全く異なる発達過程をとるらしく、私が息子を  
理解できなかったとき当たり前なのです。今までやってきました、私は  
こう育ったから、あなたもこうすよば、もちろんとまざるはず」という考え方は  
全く間違っていた事が科学的にも分かりました。

(今、下Vや本で少い勉強してきます)

私から見て、何でか、と思える様な、沢山の失敗・経験も、子どもが  
するのを親は見守るだけ。手や口も出さずに見守って、初めて分かる

小さな、小さな子ども成長が、親にとせば、とくも大きな喜びがあることも知りました。

また、決まった対応はないと教えていただけの事も、大きな事です。

家庭生活において、全く同じニテエーションはありません。なのに、私は、こういふ時は、こう答えるべきなのと凝り固まった考え方をしてました。だから長男も、融通の効かない、ちよこした事でパニックになったりする子になっちゃったと思います。

一つの子どもの言葉に対してでも、様々な答え方がある中で、私だとわかって一つの言葉を選んで使えばいいのですが、その根底に、「子どもの気持ちも理解しようとする気持ちも」さえあれば、そう間違った対応にはならぬのかな、と思えていきます。

今でもまだ、せっかちで自分中心の私は、抽断すると、子ども  
の気持ちも扱わず取っ払い、と気付く時があります。さういふ時は  
だいたい、子どもが反応で気付かせてもらいます。

一人卒業し、もう一人、まだまだ修業の身です。

最近、夫婦でソラソラと相談もできず、ようになりました。  
相手の気持ちも考え、人間的にとっても大切な事を教えて頂戴。家庭の  
中も穏やかになつた様に思っています。

今、友達と遊ぶのが、長男も、ほぼ毎日、友達と遊んでいます。  
おまりに来てくれる子も、こんなに人が集まってくれるのは、喜ばな  
いと思える様になりました。

息子たちも友達と同じ中学高校に行きたい。と目標をもてる  
様になりやすい。